

HBI 學院通信

立場 聖書信仰・福音主義・超教派 実践 信仰・従順・聖潔
モットー「キリストを知り、教会に、世界に、時代に仕える」

〒003-0831 札幌市白石区北郷1条3丁目1-61 電話番号 011-871-7892 FAX番号 011-871-7899

・郵便振替口座 02720-9-19238 加入者名「北海道福音伝道会・北海道聖書学院」
 ・ゆうちょ銀行総合口座 記号19090 番号103151 加入者名「北海道聖書学院」



「ことばの知恵によらず」
 学院長 中川 昭一

4月は入学・入社などの時期で、関係各所において"おめでとう"というお祝いの言葉が交わされます。その意味としては、ここまで成長してくれたことや勉強などの努力が報われた結果に対するものでしょう。ただ神学校となると、成長の喜びとか受験努力の報いとは異なります。むしろ、入学者自身も期待と同時に不安やたじろぐ思いを感じているかもしれません。それでもあえて入学が祝われるとするなら、主の御前に取るに足りない者をさえご自身の聖なる働きのために選ばれたといいう一連の恵みの事実、神による「召し」に対するものだと言えるように思います。今年度から、学院長という身の丈に合わない役目を与えられた私自身も恐れたじろぐ一人です。改めて主の前に襟を正しつつ、主がみこころを成してくださるようにと願っています。

コリント人への手紙第一章17～19節で、「ことばの知恵」と「十字架のことば」が対比されています。それは「人間の知恵」と「神の知恵」とも言い換えられます。パウロがこのような対比をしたのは、コリント教会内で「私はパウロにつく、私はアポロに…」などというように、キリストよりも自分好みの教師を持ち上げて"分派"を作り、結果的に争いを生み出していたためでした。人々は知的欲求を満足させる魅力的な話を好みます。知恵に満ちた説教に問題があるのではなくても、しばしば雄弁であることが、皮肉なことにかえってキリストを隠してしまう現実があったため、「キリストが私を遣わされた」理由は、売名行為のためではなく、「福

音を、ことばの知恵によらないで宣べ伝えるため。それは、キリストの十字架が空しくならないようするため」だとパウロは強調しました。「十字架のことば」は「…救われる私たちには神の力」だとあります。十字架それ自体に神の力があるというのではなく、十字架に現されたイエス・キリストによる贖いの意味が"ことば"として語られていくことが"神の力"だと言います。

改めて、北海道聖書学院の設立者であるOMF宣教師アーサー・レイノルズ先生のことばを思い出します。「この学院の一番大切な仕事は、キリストとキリストの苦しみを宣べ伝える人たちを訓練することです。つまり、十字架がすべてです。しかし、北海道聖書学院の建物には、教会のように十字架が建てられていません。だから、この十字架が、学院での生活と働きというその中身に刻み込まれていかなければなりません」。…あえて目で見える十字架を置かず、訓練を受ける一人一人に"十字架を刻みつける"という学院の原点に私自身も立ちたいと思います。

神学校は、好きな聖書の勉強ができるだけの楽園ではありません。個性ある人間同士の中で起こる葛藤や、他者との関わりを通してでなければ気づくことができなかつた自分の弱さや罪深さと否応なく向き合わされ、何度も考えさせられ、"私の力ではなく、私のうちに働く神の力"を経験する場であるし、そうでありたいとも願っています。「十字架のことば」の意味を宣べ伝えるためには、まず救いを受けた私自身がその意味を深く刻みつけ、この私にも働く「神の力」を知ることが、どうしても必要なことと言えます。

その一方でパウロは、福音を宣べ伝えようとするとき、「十字架のことば」が見下され蔑まれる現実があることも前提としています。

同1章18節の「愚か」はこの手紙だけで使われている語で、その人自身の問題というよりも、ある対象を蔑んで低く評価する語です。たとえ福音を語るその人自身が認められていたとしても、いざ"十字架と復活"の話になると、「そんな話を聞きたいのではない。我々が聞きたいのは好奇心を満足させてくれる話である。価値があるのは"ことばの知恵"である」と、「十字架のことば」が拒絶される現実があることを、パウロは伝道者として経験していましたし、生まれも育ちも秀でていたパウロ自身が、使徒たちの語る福音を蔑み迫害していた側でした。そのような経験と教訓から語られている「十字架のことばは…神の力」だとの決意が込められたメッセージに、「召された」私たちも自らの覚悟として聞かなければならぬでしょう。好奇心を刺激し満足させる話、どこまでも優しく簡単に安心が与えられるかのような話しが好まれるのは、いつの時代どこの国でも変わりません。さらに現代は便利な道具が溢れ、手軽に情報を手に入れられる時代です。即効性があり効率的なものが重宝され、価値あるものとみなされる時代です。「ことばの知恵」の魅力は、いつの時代であっても手強いものです。それは教会においても例外ではありません。私たちはそのような世界に遣わされようとしているのです。

しかし、恐れたじろぐことはありません。この世の知恵が、どれだけ人々の関心を集めたとしても「神の知恵により、この世は自分の知恵によって神を知ることが」なく、「宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救うこと」にされたからです(同1章21節)。この「された」は、"心に適っている"という積極的な意味です。

学院での訓練が「十字架を自分の中に刻み込むもの」となりますように。私自身も、改めて学院の原点に立ち、共に考え、祈り求め、取り組んで行きたいと願っています。



前学院長 松 元 潤

まず初めに、私の退任式のためにご来場くださった方々、またこれまで祈り支えてきてくださった諸教会の皆様、特に学院長在任中、忍耐と愛によつて支えてくださったJECA北栄、JECA若葉キリスト教会の兄弟姉妹に心から感謝申し上げます。

時に牧師は、目前の現実対処に追われ、神学は机上の空論の如き位置づけへと流されかねません。けれども、教会の土台を支えているものが、人ではなく、神のことばである聖書であり、啓示の頂点がイエス・キリストである以上、教会の本当の主人の考え方を正しく聞く靈的な戦いを誠実にし続けることはすべての働き人の責務であると考えてきました。それゆえの長年の葛藤に主が働いてくださったことが、神学教育の末席へと小さき者を導いた主たる要因だったと思います。様々な責務が付随した働きに多忙を極めたことは事実ですが、メッセージによって牧会する力を支えてくれたのもまた、原典に触れ続けなければならない神学校の働きでした。振り返って、与えられた責任は、重圧以上に主の豊かさを体験する大きな恵みでした。具体的には、年次によって段階的に学びを深めていくための大幅なカリキュラム変更や、オンラインによる遠隔地授業や、オンデマンドの導入などのチャレンジが支えられ、折にかなった助けがあったことを心から感謝いたします。特にオンデマンドは、諸教会で主のみこころを生きたいと願う兄弟姉妹の助けとなりますように。

私が神学校を卒業した時代は、リベラルに対峙する福音派の立場が意識されていました。しかしポストモダンの今、福音に基づいて今日的問題を考えようとしても福音派の間に聖書が語る福音とは何かという理解に混乱があるのは否めません。神学校が背負う課題もまた時代と共に変化するのです。だからこそ今後も、決して変わることのない「みことば」に信頼して、その基準を堅く守るためにより深い学びが求められていくでしょう。

北海道聖書学院は、諸教会の人的・経済的・靈的「協力」によって運営されている存在であり、独立し

た学校法人ではありません。教会の交わりがそうであるように、信仰者は信仰者的人格を数字で評価することは許されません。主がどんな方を用いるか、人はそれを決めつけることもできません。神学生は、主が召し出された人たちであり、当人を最もよく知る母教会が推薦して送り出した人たちであり、祈られている人たちだからです。どこに行っても喜んで応援したいという願いを持つ母教会が神学生の背後にあり、教会が一致してそのように願うことができる兄弟姉妹を送ってくださるようにというのが、私たちの最後のお願いです。「あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでも、いつでも弁明できる用意をしていなさい。」(ペテロの手紙第一3:15)皆様の主にあるお支えを心から感謝して。

卒業生の証し

Hokkaido Bible Institute



これからも良いお方に信頼して
JECA厚別福音キリスト教会伝道師
第56期本科卒業生
いくた・ながこ
生田 良子

主の御名をあがめます。2012年4月に入学し、卒業まで12年かかりました。振り返ってみれば、長期間の入院生活は、課外授業のようなもので、闘病を含めたすべての年月が神による特別な訓練だったのでしょう。もし10年前に病気にならざりそのまま卒業していたら、私は教会の害にはなっても益にはならない、主の教会を傷つける者になっていたと、真実にそう思います。

昨春に復学し、多くの人の祈りと支えの中で臨んだ1年間でしたが、学びも人間関係もことごとく苦労し、つまずきと失敗がありました。それでも、12年前と大きく違うのは、自己受容ができるようになれたことです。弱さや欠けを持ちながらも、主のお取り扱いを受けようとする心に整えられ、他者と無闇に比べることはほとんど無くなりました。このこと一つとっても、病の経験は無駄ではなかったと告白できます。(詩篇119:71)

私たちの人生は、予想通りにはいきません。しばしば暗闇を通り、涙の谷を経験し、光が差す中

を歩むときもあります。これから先、どのように導かれるかわからない中で、いつも覚えていたいのは、これまで私に良くしてくださったお方は、これからもきっと良くしてくださるということです。

卒業は、新しい始まりであり一区切りでしかないと思いつかれていました。ここからです。キリストの福音を携えて、主が遣わしてくださった所で、神と人とをよく愛し、よく仕えることを心から願い祈りつつ。栄光在主。



主のあわれみによって

福音バプテスト宣教団
奉仕先 コイノニアキリスト教会牧師
第56期本科卒業生
わたなべ・かずひろ
渡部 和弘

主が定めた学びと訓練を終え、HBIを卒業できました。神さまと皆様の祈りとお支えを感謝いたします。この3年間、私にとって試練と思われるようなことがありました。

一つは、私の学びの力の弱さです。60歳がすぎ、物忘れが出てきて、特に語学やテストの時に困難を覚えました。神さまは、わたしがあなたとともにいる励まされ、先生方の忍耐、ともに学び、祈り、励まし合う学生たちを神さまが送ってくださり学びを続けることができました。

もう一つは、私の健康です。突然血圧が高くなり、病院で狭心症と言う病名がつき心臓にストントと言う金属を入れ血管を広げる手術をしました。しかし、生かされ、まだ私に何か神さまの御用があるのだと感じました。

困難、試練を通して教えられたのは、私のものは、すべて神さまの手の中にある、自分ではどうしようもできないこと。そして、自分の思いではなく、ただ神さまに信頼して歩めということです。

学院での3年間。振り返ると、何よりも神さまがともなってくださる素晴らしい毎日でした。今、神さまがよいと言われる時までの主の働き人としての生活が始まっています。教会のみなさんと、そして何より今まで私を導いてくださった、愛する主とともに、神の國の前進のために力を尽くしていきたいと願います。

神様の促しがある方。素晴らしい学院生活を神さまと先生方、学生たち、スタッフと共に過ごしませんか。

短期信徒コース修了生の証し

Hokkaido Bible Institute



3年間の学びを終えて

奉仕先

JECA友好 東栄福音キリスト教会

短期信徒コース修了生

どもん・いちこ

土門市子

主の御名を賛美いたします

私は短期信徒コース生として3年間在籍させていただきました。

入学当初は右も左もわからない私にとって、授業について行くのが精いっぱいでしたが、一年の終わりにはそんな苦労とは比べ物にならないほどの多くの恵みがありましたので、籍を置き引き続き3年間学ぶことにしました。このことが許されたのも、神様の大きな憐れみであり私を愛するがゆえの恵みであったことを確信しています。

この3年間学びとともに教えられたのは、自分という人間としての姿を徹底的に内観し、知ることでした。それによって自分の弱さと罪を知らされたと同時に、神様の愛によって自分を肯定し、自分自身を愛することがいかに神様の喜びであるかを知らされました。

そして「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」ということを教えられました。自分を愛さなければ他人を愛することなどできないという事を教えられました。北海道聖書学院は少人数制です。だからこそ、その学生たちの深い交わりの中で自分を内観し、相手を知ることによって、愛すること、認め合う事、戒め合うこと、励まし合うこと、そして神様の前に正直な自分でいる事が出来たのではないかと思っています。

卒業したとはいえ、まだまだ弱く欠けだらけの器の私ですが、主の御用のためにこのような者でも用いてくださいと祈るばかりです。

本科生の証し

Hokkaido Bible Institute



本科2年編入へ

JECA 旭川めぐみキリスト教会

本科2年生 いだ・しゅうへい

井田修平

2023年4月から北海道聖書学院の短期信徒コー

スに入りました。献身の思いがあり、学びながら本科2年を目指すか、あるいは他の神学校に行くか考えるつもりでした。

年がいっているので勉強は大変だうと考えていましたが、むしろ困難を感じたのは人間関係の面であり、衝突を経験し、多種多様な人間に沢山関わることになる教会の働きに自分は相応しいのか悩むことになりました。

私は牧師との関係で傷ついた教会を知っています。いくら「自分は献身者だ」と言ったところで、相応しくない器が教会の働きに就くなら悲劇を生みます。学びを一年で終えたほうが賢明ではないかと考えるようになりましたが、一人で結論を出すのではなく、今は神栖に行かれた加藤先生、そして松元先生ご夫妻に相談しました。そこで、神学校では誰もがそれぞれの課題に向き合わされ取り扱われること、一つひとつ神様に誠実にお応えし従っていくことの大切さを教えられました。

どうすべきか祈る日々の中で、洗礼を受けて間もなくのころ語られた「行け、モーセ」と題した説教を思い起こしていました。私もまた「今、行け」と言われている。生ける聖なる神にお会いすること、十字架による罪の赦しがあることを伝えいかなければならない。御声に「はい」とお応えするのだ。もう一度「神様に全てをお献げして歩むのだ」との思いに立たされました。苦闘はあるけれど、心を尽くして主により頼みます。

新入生の証し

Hokkaido Bible Institute



主に支えられて

保守バプテスト同盟

名取ニューライフキリスト教会

本科1年生 かいねま・けい

貝沼 携

私は中学生の時に神様を信じ洗礼を受けました。ただ昔から目立つことが苦手で、教会の話も避けていました。進学した岩手大学の聖書研究会に関わるようになり、不思議な導きでノンクリスチャンの友と一緒に聖書を開き、祈る機会が与えられました。その時に、神様がこんなに弱く不信仰な自分を用いようとしておられることに驚きました。

自分の信仰に落ち込み、悩んでいた私を神様が愛してくださり、神様を喜ぶ生き方に招いていることに気付かされた時、私は神様のために与えられた人生を捧げたいと少しずつ考えるようになりました。

大学卒業後は教員として働きました。心と体が疲れ切り、迷い悩む時も、御言葉を通して何度も神様が私を力づけ、立ち上がらせてくださいました。また教会の祈りに支えられ、職場の先生方や生徒に恵まれ、与えられた関係を通して、神様が私のことを良くしてくださり、愛してくださっているということを働き続ける中で気づかされました。ただ私の中にはいつも神様は私がどのように歩むことを願っておられるのかという思いがありました。私は神様から与えられている恵みの大きさを知れば知るほど、さらにその恵みを伝え、周りを力づけ、支えていくことをしていきたいと願うようになり、学院への入学を決めました。学院での学びや訓練を通して、私自身が御言葉により養われ、働き人として整えられることを祈り求めていきます。



ふさわしくないものが
JECA友好 東栄福音キリスト教会
本科1年生 はしもと・いっくう
橋本 一空

大学1年生の夏、東アジアのある国での短期宣教ツアーを通して、献身の召命を受け取りました。そして大学卒業した後、5年間KGK（キリスト者学生会）を通して学生宣教に仕えてきました。

召命が与えられたあの日から今日まで深められてきたことの一つは、私は本当に伝道者としてふさわしくない存在であるということです。神と人を愛すること、主の前にきよく生きること、小さな働きにも忠実で誠実であること。へりくだって、他人を自分よりすぐれたものと思い仕えること。たゆみなく祈り続けること。どれをとっても欠けだらけの私がいます。

しかし、もう一つ深められてきたことがあります。それは、そんな私でさえも主の働きの器としてきよめて用いてくださる神が私を招かれたという恵みの事実です。その喜びです。この恵み、良き知らせがあるからこそ、私は欠けだらけの弱い

私も含めた私のすべてを主の前に獻げることができます。こんな私を造り変えてくださる神の大能の働きと、栄光の姿へと導かれる主の約束に信頼し、期待します。

これからHBIでの学びに入る中でも、多くの困難と、ふさわしくない自分自身に出会うのだろうと思います。しかし、どんな時にも変わることなく愛と恵みを注ぎ続けてくださる主を私は知りたいと願っています。そして、私たち神を信じるものに与えられた福音の喜びをますます味わい知るものとさせられたいです。この学びを終える時、今よりももっと豊かに主を賛美し、心からの礼拝を獻げるものと整えられていくことを楽しみにしながら、学びに遭わされて参りたいと思います。

学院ニュース

NEWS

◆ 責任役員会並びに評議員会報告 ◆ (敬称略)

2024年度（2024年5月現在）の責任役員は古川修二（代表役員）、ジョンニュートン・ウェブ、田鎖直樹、??本牧人、川崎憲久、藤山勝彦、横谷亘、中川昭一の8名です。評議員は、菜花和男、三浦育子、クオック・エドウィン、杉本博徳、村田晃、本多民生、武田将幸の7名です。

<2024年5月21日開催：責任役員会＆評議員会>

- ①今年度より古川修二師が代表役員となった。新評議員として武田将幸師。
- ②2023年度会計決算報告。
- ③建物改修工事の進捗について。
- ④左記工事における費用の内「貸与金」の返済計画について。
- ⑤海外研修および伝道実習旅行の進捗について。
- ⑥学院車使用の「申し送り事項」について。（以上、文責・中川）

2023年度 献金者 (敬称略、順不同)

● 教会 ●

興戸キリスト、武藏台福音キリスト、朝霞聖書、保守バプテスト津田沼キリスト、栗橋キリスト、ぶどうの樹キリスト、都賀キリスト、ザチャペルオブアドレーン、麻溝台キリスト、横浜永谷キリスト、一宮望みキリスト、我孫子福音キリスト、東村山キリスト、八郷キリスト、泉パークタウンキリスト、小平聖書キリスト、津豊ヶ丘キリスト、生駒めぐみ、浜田山キリスト、千歳烏山光の子、つつじヶ丘キリスト、西荻南イエスキリスト、キリスト教朝顔、岸和田聖書、神栖めぐみキリスト、富士宮キリスト、牛久福音キリスト、岡谷めぐみ、中野島キリスト、永福南福音キリスト、生田丘の上キリスト、一宮福音、八重山福音光る海、宮崎北聖書キリスト、弘前福音キリスト、青森福音キリスト、八栗シオンキリスト、上社福音キリスト、横浜緑園キリスト、川越聖書、中山キリスト、栄聖書、別府キリスト、昭和聖書、鳩ヶ谷福音自由、足立キリスト、湘南のぞみキリスト、世田谷中央、前橋キリスト、谷田部キリスト、本郷台キリスト、金沢中央、白山めぐみキリスト、イエスキリスト家庭集会、大磯キリスト、二宮山西キリスト、宣教、丸亀聖書、洛西上里チャペル、花の木キリスト、高松シオン、長良キリスト、小羊会、高崎福音キリスト、土浦めぐみ、十日市場めぐみキリスト、シャローム福音、蛇田福音キリスト、当別キリスト福音、三番通福音キリスト、札幌聖書キリスト、日本メノナイト白石キリスト、札幌白石中央キリスト、札幌キリスト宣教会、東区キリストの教会、札幌中央福音キリスト、グレースコミュニティ、日本ナザレン教団・札幌、平岸いずみキリスト、シオンクリスチヤンセンター、釧路キリスト福音館、北斗キリスト、釧路のぞみキリスト、名寄グレース、由仁オアシス、札幌羊ヶ丘、グレースチャペル、藤野福音キリスト、平岡福音キリスト、十勝大地の恵み、東栄福音キリスト、栄福音キリスト、帶広栄光キリスト、札幌南福音キリスト、札幌平和の福音、旭川めぐみキリスト、北見めぐみキリスト、北広島チャペルキリスト、若葉キリスト、屯田キリスト、日本メノナイト中標津キリスト、小樽福音キリスト、厚別福音キリスト、新札幌聖書、室蘭キリストグロリアチャペル、苦小牧福音、登別中央福音、富川福音、日高キリスト、伊達福音、美唄福音キリスト、砂川福音キリスト、千歳福音キリスト、函館のぞみ福音キリスト、花園キリスト、七飯福音キリスト、糸井福音キリスト、大麻福音キリスト、北栄キリスト、札幌希望の丘、恵庭福音キリスト、北広島福音キリスト

(宗)北海道福音伝道会・北海道聖書学院 2023年度決算報告および2024年度予算

(単位:円)

科 目	2023年度 決算報告			2024年度 予 算
	予 算	決 算 額	達 成 率	
収入の部	維持費	10,350,000	9,234,544	89.2%
	特別定額金	4,700,000	4,311,035	91.7%
	指定期間	4,870,000	4,684,100	96.2%
	雑 収 入	80,000	97,264	121.6%
収入の部合計		20,000,000	18,326,943	91.6%
				21,300,000
支出の部	人件費	4,048,000	4,048,000	100.0%
	教育費	2,360,000	2,330,000	98.7%
	監修費	2,300,000	2,690,000	117.0%
	講師費	2,628,000	2,628,000	100.0%
	事務職員費	400,000	46,749	11.7%
	福利厚生費	528,000	408,000	77.3%
	退職金事業団	60,000	60,000	100.0%
	キャッソーカー退職金積立引当金			
	会議費	530,000	233,773	44.1%
	出張費	0	0	0
支経営の部	講座費	420,000	330,110	78.6%
	式典費	200,000	144,549	72.3%
	図書費	教材費(2024年度より削除)	0	0
	会員登録料	500,000	602,537	120.5%
	会員登録料	20,000	18,942	94.7%
	会員登録料	150,000	93,047	62.0%
	会員登録料	0	0	252,000
	会員登録料	420,000	486,870	115.9%
	会員登録料	300,000	324,994	108.3%
	会員登録料	61,000	45,433	74.5%
支営費の部	会員登録料	120,000	137,273	114.4%
	会員登録料	660,000	700,932	106.2%
	会員登録料	2,550,000	2,396,453	94.0%
	会員登録料	800,000	977,703	122.2%
	会員登録料	65,000	73,701	113.4%
	会員登録料			70,000
	会員登録料			
支出の部合計		20,000,000	19,553,143	97.8%
				21,300,000
当年度収支		-1,226,200		
前年度繰越し		-558,795		
次年度繰越し		-1,784,995		

※2024/5/21責任役員会にて仮受金より50万円を補填し次年度繰越し▲1,284,995円とすることを決定。

● 団体 ●

東洋ローラ・キリスト伝道教会・聖書学院、国際福音宣教会(OMF)、北海道ケズイックコンベンション、日本同盟基督教団、日本同盟基督教団北海道宣教区聖会、日本メノナイトキリスト教会会議、福音バプテスト宣教団、JEC A北海道地区、北海道聖書学院同窓会

● 個人 ●

谷口精子、三浦育子、加藤嘉成・百合香、佐藤勝彦、木村恵一、岡田好子、川崎憲久・優子、中川謙三、木田仁逸・靖子、千葉敏夫・文子、川口弘子、鹿野晴美、山口翼・あゆみ、稻葉功一、高田秀樹・知子、尾形貴美夫、金子久美子、熊谷厚子、伊藤高嶺・諭子、佐藤道夫、中川昭一、菜花和男、細川勝利・澄代、岩館淳子、野村孝幸、橘明美、武石貴志・孝子、百古楽、池端重雄・志津子、沼田市子、森健、北島省三・博子、杉本潤・香、五十嵐光子、國安洋子、真壁朝貞、渡邊賢治、太田豊・慶子、清水和友・芳枝、須川清一、津村俊夫、古賀久子・望実、佐藤聖佳。松村玲子、本間英隆・早苗、中原明美、松元緑、寺田誠・麻美、相原良雄、入月英明・かおる、矢口素子、荻野潤一・千代子、寺下芳子、東頭成・壽子、高橋敏夫、大崎良子、嵐時雄、鶴田典子、竹内つづみ、堀田修一・美穂子、山田純子、松田聖一・有未、坪根愛・高橋政宣、吉田麻希子、佐藤恵里華・齊藤雄一・五輪子、工藤元貴・亜紀子、石黒大・涼子、森本のり恵、佐々木知恵、日下かおり、桑原春樹・趙錦煥、津村誠・ルツ子、吉田誠・美希子、長谷川千恵、千葉さやか、三好和道・ゆり、成田和之、中村則夫、吉田幸弘・石川眞由美、植木紀夫、横川隆・松元潤・ハンナ、杉本和仁・三谷伸子、吉田真由美・酒井純子、谷井和恵、佐々木春代、本間眞智子・小辻竜子、珠田達子、瀧山徳廣・稻、中沢久子、細川るり、花香寿子、空地良子、平賀俊尚・順子、藤田春義・藤井聰、杉本清子・阿部好允、菊池扶美子、樽井民江、土門市子・寺谷紀子・岡崎紘久・門田昌子、今成忠司・智子・福永健司・上林宏次・河合良子、巳野澄江・村上美恵子・伊藤誠一・萩生田明・松本秀春・イングリット・藤山勝彦・上野明和・ふさ子・匿名6名